

千葉県 サステナビリティファイナンス・ フレームワーク



千葉県マスコットキャラクター

チーバくん

ちばSDGs

はじめに及び発行体概要

(1) はじめに

千葉県は、サステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しました。

本フレームワークでは、表 1 に示す種類のファイナンス（債券あるいはローン）が実施可能です。なお、以下の原則、ガイドライン等に基づいて策定しております。

(表 1) 本フレームワークに基づいて実施可能なファイナンスの種類

種類	内容
グリーンファイナンス	グリーン適格プロジェクトのみを資金使途とするファイナンス
ブルーファイナンス	ブルー適格プロジェクトのみを資金使途とするファイナンス
グリーン/ブルーファイナンス	グリーン適格プロジェクト及びブルー適格プロジェクトのみを資金使途とするファイナンス
ソーシャルファイナンス	ソーシャル適格プロジェクトのみを資金使途とするファイナンス
サステナビリティファイナンス	グリーン/ブルー適格プロジェクトの何れか若しくは双方と、ソーシャル適格プロジェクトを資金使途とするファイナンス

(参照する原則・ガイドライン)

- グリーンボンド原則 2021 (ICMA)
- グリーンローン原則 2023 (APLMA, LMA, LSTA)
- ソーシャルボンド原則 2023 (ICMA)
- ソーシャルローン原則 2023 (APLMA, LMA, LSTA)
- サステナビリティボンドガイドライン 2021 (ICMA)
- グリーンボンドガイドライン 2022 年版 (環境省)
- グリーンローンガイドライン 2022 年版 (環境省)
- ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版 (金融庁)
- Sustainable Blue Economy Finance Principles (国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI))
- Blue Finance Guidelines (国際金融公社 (IFC))

(2) 千葉県の概要

本県は首都圏に位置し、日本の空の表玄関である成田国際空港や、国際拠点港湾である千葉港、東京湾の中央部を横断するアクアラインや圏央道などの道路ネットワークを有し、国内外の多くの都市と結ばれています。また、京葉臨海コンビナートに代表される素材・エネルギー産業の集積や、全国屈指の算出額を誇る農林水産業など、産業項目別の全国順位において全ての項目で 10 位以内に位置しており、バランスの取れた産業構造が形成されています。また、貴重な干潟が残る東京湾や長大な砂浜が続く九十九里浜など、変化に富んだ姿を見せる海に囲まれ、利根川や江戸川、印旛沼や手賀沼など、多様な水辺空間を有するほか、房総丘陵には緑豊かな山々が連なるなど、恵まれた自然環境が広がっており、各地域には、それぞれの特徴ある文化が息づいています。

(3) SDGs に関する取組方針

令和元年房総半島台風など気候変動の影響による自然災害の激甚化・多頻化や、2020 年をピークにした人口減少に伴う地域経済の縮小、都市・集落機能の低下に加え、新型コロナウイルスや不安定な国際情勢等により県民生活に大きな影響が生じるなど、本県を取り巻く環境は厳しさを増しています。また、社会経済のグローバル化やデジタル化の進展、脱炭素化の取組などにより、今後、様々な分野で更なるイノベーションが進むことが考えられ、そうした新しい潮流を積極的に取り込んでいくことが重要です。

本県では、こうした喫緊の課題や今後の社会環境の変化等に対応し、県民の命と暮らしを守るとともに、全ての県民が生きる価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造していくため、令和 3 年度には県政運営の基本となる「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」を策定しました（実施計画期間：令和 4～6 年）。

国においては、「SDGs 実施方針」を定め、取組を進めており、本県が目指す方向性と同じであることから、本計画が掲げる政策・施策を着実に推進していくことで、SDGs が目指す社会の実現に繋げることができると考えています。未来の千葉県を築いていくためには欠かせない、施策横断的な視点として「SDGs の推進」を位置付け、全庁を挙げて取り組むこととしています。

なお、現状は、令和 7 年度から使用する新たな総合計画の策定を進めているところであり、新総合計画に基づくフレームワークは改めて公表する予定です。以下は、「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」（実施計画期間：令和 4 年～6 年）についての説明です。

【千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～】¹

総合計画は、県政運営の基本となるもので、本県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。総合計画は、「基本構想編」と「実施計画編」で構成されます。

(1) 基本構想編（10 年間）

本県を取り巻く環境の変化と課題を 11 項目に整理し、その上で、「～千葉の未来を切り開く～『まち』『海・緑』『ひと』がきらめく千葉の実現」を基本理念に掲げ、その実現に向け 6 つの分野で基本目標を設け、それぞれ 10 年後の本県の目指す姿を示すとともに、進むべき方向性を具体的に明らかにしています。

<本県を取り巻く環境の変化と課題>

1. 感染症・災害等リスクの増大への対応
2. くらしの安全・安心の確保
3. 人口減少・少子高齢化への対応
4. 社会経済情勢の変化への対応
5. 半島性の克服と活用
6. 医療・福祉の増加と健康志向の高まりへの対応
7. 環境保全・持続可能な社会づくり
8. 価値観・ライフスタイルの多様化への対応
9. デジタル社会の推進

¹ 千葉県総合計画：<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sougou/aratanakeikaku.html>

10. SDGs の推進

11. 行財政改革の推進

<基本理念・目指す姿>

- I. 危機管理体制の構築と安全の確保
- II. 千葉経済圏の確立と社会資本の整備
- III. 未来を支える医療・福祉の充実
- IV. 子どもの可能性を広げる千葉の確立
- V. 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現
- VI. 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(2) 実施計画編（令和 4～6 年度）

基本構想編に掲げる 6 つの基本目標を実現するため、令和 4 年から令和 6 年度までの 3 年間で重点的に取り組む政策・施策を体系的に整理し、施策を着実かつ効果的に進めていくために必要となる、全庁の様々な分野の取組に広く関係する視点を「施策横断的な視点」として掲げています。

<施策横断的な視点>

- ・施策を着実かつ効果的に推進できる体制を構築するための視点
 - 県政運営を貫く 3 本の矢
- ・複数の分野に関係するとともに、未来の千葉県を築いていく上で欠かせない 3 つの視点
 - SDGs の推進
 - カーボンニュートラルに向けた取組の推進
 - 東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー活用

<重点的な施策・取組>

- I -1 危機管理体制の構築
- I -2 防災基盤の整備
- I -3 くらしの安全・安心の確保
- II -1 経済の活性化
- II -2 農林水産業の振興
- II -3 社会資本の充実とまちづくり
- III -1 医療提供体制の充実と健康づくりの推進
- III -2 高齢者福祉と障害者福祉の充実
- IV -1 子育て施策の充実
- IV -2 教育施策の充実
- V -1 共生社会の実現
- V -2 連携・協働による社会づくり
- VI -1 千葉の魅力の向上と活用

VI-2 環境の保全と豊かな自然の活用

VI-3 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

(4) サステナビリティファイナンスの実施目的

2015 年の国連サミットにおいて SDGs が採択されたことを受け、我が国では 2016 年 12 月に SDGs 推進の中長期的な国家戦略ともいえる「SDGs 実施方針」が策定され、本格的な取組が開始されました。2018 年には、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生する「まち・しごと・ひと創生総合戦略」に「地方創生 SDG s」が盛り込まれました。また、国際的な共通課題である地球温暖化の防止やそれに起因する気候変動への適応など、様々な環境・社会的課題に対し、地方公共団体が果たすべき役割はますます大きくなっています。

そのような中、本県では、行政はもとより県民や事業者をはじめ幅広いステークホルダーを巻き込み、SDGs 達成に向けた取組みを推進しているところです。また、「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」や現在策定している総合計画に基づく各種施策を着実に推進するため、この度サステナビリティファイナンスを活用した資金調達を行っていくこととしております。更に、サステナビリティファイナンスの活用を契機とし、幅広いステークホルダーより SDGs に係る本県の先進的な取組を理解してもらうとともに、県民や県内事業者における県政への理解・参画意識の高まりや、SDGs 推進に向けた県全域での機運を醸成していくことで、SDGs 達成に向けた着実な歩みを進めていきます。

サステナビリティファイナンス・フレームワーク

本フレームワークでは以下の 4 つの要素について定めています。

1. 調達資金の使途
2. プロジェクトの評価と選定プロセス
3. 調達資金の管理
4. レポーティング

(1) 調達資金の使途

調達した資金の使途は、千葉県総合計画の「重点的な施策・取組」に記載する施策に関連した表 2 の対象プロジェクトに充当予定です。各プロジェクトでは、それぞれ以下の便益が想定されます。いずれも新規ファイナンスのみを対象としています。

(表 2) 対象プロジェクトの想定される便益一覧

【グリーンプロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト（事業内容）	ICMA による プロジェクト分類	想定される 便益
河川・海岸・砂防 整備事業	【河川】 ■ 河道拡幅・護岸整備等、ダムの施設更新及び機能確保等、排水機場・水門等の機能確保、堤防・護岸の補修等、河道内の堆積土砂撤去及び竹木伐採、危機管理型水位計や河川監視カメラの増設等 【海岸】 ■ 高潮、海岸侵食対策等の海岸保全 【砂防】 ■ 砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等	気候変動への適応	水災害など発生時の浸水、土砂被害の軽減
農地防災事業	■ 排水施設整備等の湛水防除、地すべり対策等	気候変動への適応	水災害など発生時の浸水、土砂被害の軽減
治山施設等事業	■ 山崩れや地すべりに対する予防工事・被害地の復旧、海岸防災林等の造成等 ■ 搬出間伐 ■ 林道の整備	気候変動への適応 生物自然資源及び 土地利用に係る環境 持続型管理	水災害など発生時の浸水、土砂被害の軽減

道路防災整備事業	■ 無電柱化 ■ 道路法面工事	気候変動への適応	自然災害に対する防災対策
港湾整備事業	■ 水門、排水機場の改修整備、護岸整備、胸壁改修等	気候変動への適応	水災害など発生時の浸水被害の軽減
県有建築物の省エネルギー化	■ 合同庁舎整備等	エネルギー効率	エネルギー利用削減

【ブループロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト（事業内容）	ICMA によるプロジェクト分類	想定される便益
洋上風力発電のメンテナンス事業	■ 名洗港整備	再生可能エネルギー	洋上風力発電による温室効果ガスの排出量削減
漁場の整備事業	■ 海域環境に配慮した漁場の整備 ■ 水産総合研究センター再編整備	生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	自然資源の持続可能な管理

【ソーシャルプロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト（事業内容）	ICMA によるプロジェクト分類	想定される便益	対象となる人々
交通安全施設の整備事業	■ 高齢者や子ども、障害者などが利用しやすい交通安全対策としての施設整備等	手ごろな価格の基本的インフラ設備	道路利用者の安全確保	高齢者、子ども、障害者を中心とした利用者
防災行政無線再整備事業	■ 衛星系無線設備再整備工事等	必要不可欠なサービスへのアクセス	自然災害からの被害の予防・軽減	自然災害の罹災者
教育施設・設備充実に係る整備事業	■ 県立学校の長寿命化対策・施設整備・トイレ改修、特別支援学校の施設整備、私立学校の耐震化等	必要不可欠なサービスへのアクセス	学習環境の整備・充実 障害のある児童・生徒の教育環境の整備	生徒・障害のある児童・生徒
児童相談所施設整備事業	■ 児童相談所の施設整備等	必要不可欠なサービスへのアクセス	児童を虐待から守る環境の整備	児童
千葉リハビリテーションセンター再整備事業	■ 千葉リハビリテーションセンターの再整備	必要不可欠なサービスへのアクセス	身体に障害を有する方々の家庭・社会復帰の	障害者

			促進	
特別養護老人ホーム等整備事業	■ 老人福祉施設整備事業補助	必要不可欠なサービスへのアクセス	高齢者が安心して暮らせる生活	高齢者
公営住宅建設事業	■ 県営住宅の建設、建替、既存住宅の改善工事等	手ごろな価格の住宅	住宅に困窮する低額所得者への支援	住宅に困窮する低額所得者

(2) プロジェクトの評価と選定プロセス

調達した資金を充当するプロジェクトは、地方自治法及び関係諸法令に基づき、必要な議会での審議を経て議決され、予算として計上されます。

プロジェクトは、財政課と事業所管課が調整の上、表 2 の対象プロジェクトに適合する取組を選定し、財政課長が最終決定します。

なお、プロジェクトの選定にあたっては、環境に与えるネガティブな影響についても確認しており、選定されたプロジェクトは関係各局との協議を経て最終決定します。

(3) 調達資金の管理

① 調達資金と資産の紐づけ方法と追跡管理の方法

地方自治法に基づき、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入をもってこれに充てられます。従って、調達した資金は、当該年度中に全て対象プロジェクトに充当します。また、個別の充当状況に関しては、各所管課と連携して財政課で充当状況の把握を行い、発行超過等が起こらないよう管理します。

会計年度の終了時には、プロジェクトを含む千葉県の全ての歳入と歳出について執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による監査を受けます。その後、監査委員の意見とともに決算関係書類は県議会に提出され、議会の認定に付されます。

② 調達資金の追跡方法にかかる内部統制

調達した資金については、年度終了後、充当プロジェクト名及び充当金額を取りまとめ、財政課長にて確認します。

③ 未充当資金の管理方法

調達資金の充当が決定されるまでの間、調達資金は本県の会計管理者が指定金融機関の預金口座において現金等で管理します。

(4) レポートニング

① 資金の充当状況に関する開示の方法

充当プロジェクト名及び充当金額については、本県ウェブサイト上において起債翌年度に開示します。なお、調達資金の充当計画に大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

② インパクト・レポートニングに関する開示の方法

充当プロジェクトの実施による環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果を記載するレポートニングについては、本県のウェブサイトにおいて起債翌年度に開示します。なお、プロジェクトに関し、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

③ インパクト・レポートニングの内容

環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果として、実務上可能な範囲において表 3 のレポートニング項目を開示する予定です。

(表 3) 各プロジェクトのレポートニング項目

【グリーンプロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト（事業内容）	レポートニング項目
河川・海岸・砂防整備事業	【河川】 ■ 河道拡幅・護岸整備等、ダムの施設更新及び機能確保等、排水機場・水門等の機能確保、堤防・護岸の補修等、河道内の堆積土砂撤去及び竹木伐採、危機管理型水位計や河川監視カメラの増設等 【海岸】 ■ 高潮、海岸侵食対策等の海岸保全 【砂防】 ■ 砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等	【河川】 ・整備実績（箇所数含む） ・整備距離（km） ・整備面積（ha） 【海岸】 ・整備実績（箇所数含む） ・整備距離（km） ・整備面積（ha） 【砂防】 ・整備実績（箇所数含む）
農地防災事業	■ 排水施設整備等の湛水防除、地すべり対策等	・整備実績（箇所数含む） ・整備面積（ha）
治山施設等事業	■ 山崩れや地すべりに対する予防工事・被害地の復旧、海岸防災林等の造成等 ■ 搬出間伐 ■ 林道の整備	・整備実績（箇所数含む） ・森林整備面積
道路防災整備事業	■ 無電柱化 ■ 道路法面工事	・整備実績（箇所数含む） ・整備距離（km）

港湾整備事業	■ 水門、排水機場の改修整備、護岸整備、胸壁改修等	・整備実績（箇所数含む）
県有建築物の省エネルギー化	■ 合同庁舎整備等	・エネルギー削減量

【ブループロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト（事業内容）	レポート項目
洋上風力発電のメンテナンス事業	■ 名洗港整備	・名洗港の整備概要 ・名洗港の整備進捗状況 ・銚子沖の想定計画発電容量
漁場の整備事業	■ 海域環境に配慮した漁場の整備 ■ 水産総合研究センター再編整備	・整備実績（箇所数含む）

【ソーシャルプロジェクト】

事業内容	主なプロジェクト	レポート項目
交通安全施設の整備事業	■ 高齢者や子ども、障害者などが利用しやすい交通安全対策としての施設整備等	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・交通事故死亡者数 【インパクト】 ・交通安全対策の推進
防災行政無線再整備事業	■ 衛星系無線設備再整備工事等	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・整備箇所数 【インパクト】 ・危機管理・防災体制の構築
教育施設・設備充実に係る整備事業	■ 県立学校の長寿命化対策・施設整備・トイレ改修、特別支援学校の施設整備、私立学校の耐震化等	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・整備箇所数 【インパクト】 ・安全で快適な学校環境の整備

児童相談所施設整備事業	■ 児童相談所の施設整備等	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・一時保護所の定員数 【インパクト】 ・児童虐待の防止・社会的養育の充実
千葉リハビリテーションセンター再整備事業	■ 千葉リハビリテーションセンターの再整備	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・整備床数（定員数） 【インパクト】 ・障害者の自立・生活支援
特別養護老人ホーム等整備事業	■ 老人福祉施設整備事業補助	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・整備床数（定員数） 【インパクト】 ・高齢者が安心して暮らせる社会創り
公営住宅建設事業	■ 県営住宅の建設、建替、既存住宅の改善工事等	【アウトプット】 ・整備内容 【アウトカム】 ・整備戸数 【インパクト】 ・誰一人取り残さない社会環境の整備

改訂履歴

年月	内容
・ 令和 5 年 9 月	・ 初版
・ 令和 7 年 7 月	・ はじめに及び発行体概要 （３） SDGs に関する取組方針 （４） サステナビリティファイナンスの実施目的更新